

※対面形式により開催します。

・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。

1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。

個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。

・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。

なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

※対面形式の会場がいつもと異なりますのでご注意ください。

(1) キャンパス内は完全禁煙です。

(2) 構内のご入構に際しましては、国道 208 号線(南部バイパス)よりご進入いただき最初の交差点を左折。ゲートにて入構券をご落掌の上、ご入構ください。ご出構の際に入構料金として、入構から 1 時間毎に 100 円加算されます。最大料金の設定はありません。ゲートにおいて領収書の取得が可能です。ご出構の際は南部バイパス方面、または佐賀大学西門(佐賀市営バス停「佐大西」)方面に向けてご出構が可能です。

令和 8 年 4 月 吉日

各 位

軟弱地盤研究会 (第 211 回) のご案内

軟弱地盤研究会

会長 日野剛徳

日 時：令和 8 年 4 月 24 日 (金) 14 時～16 時 (1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし)

場 所：佐賀大学本庄キャンパス 理工学部 6 号館 DC 棟 2 階多目的セミナー室

<https://www.saga-u.ac.jp/gaiyo1/campusmap/>

(※マップ中 ピンク○29 番建物の 2 階です)

話 題：既存住宅地盤の液状化対策の考え方と対策事例について

講演者：諏訪技術士事務所 諏訪 靖二 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

1995 年兵庫県南部地震で、埋立地や阪神間の低平地部では大きな液状化被害に見舞われた。周囲を海面や河川の水面に囲まれた尼崎市築地地区では、家屋倒壊率 50%を越える場所もある大きな被害が発生した。筆者はこの地区の被害調査も行い、住民や行政の相談にも乗っていた。

住民の賛意のもと区画整理事業実施決定したが、住民の液状化対策実施の要望(住民負担無)をかなえるために、道路の耐震化対策として道路地下に透水管を埋設して地下水低下工法を提案し、地下水調査・設計・施工監理を担当して実施した日本で初めての事例である。

※参加希望の方は 4/17 (金)・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容 (Kirekawa Toshihiro)

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 (公財) 佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603